

消防吏員用被服仕様書

阿賀野市消防本部

消防吏員用被服仕様書

1. 概要

この仕様は、阿賀野市消防本部における消防吏員用被服について定める。

2. 品名及び数量

品 名	数 量	備 考
防火衣上下衣	5 着	冷却剤 3 個、安全帯ランヤード収納袋付
活動服上下衣	上衣 1 5 着 下衣 2 2 本	ネームワッペン付
救助服上下衣	5 着	ネームワッペン付

3. 仕様

別紙仕様詳細書に合致するもの又は同等以上の性能を有するもの。

※仕様書詳細書に記載のある品番等は参考品である。

4. 納入期限

令和 8 年 3 月 3 1 日

5. 採寸

採寸については、試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。

ただし、袖丈、ズボンの股下寸法については、基準にこだわらず、各人の体形に合わせて仕上げるものとする。

6. 納品

製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、まとめて納品すること。

7. 納品の保証

納入後であっても生地、型式、縫製等に不備又は相違がある時は、速やかに補正し、又は取り替えるものとする。

8. この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

防火衣仕様詳細書

第1 品名及び数量

防火衣上下（冷却剤3個、安全帯ランヤード収納袋付） 5着

第2 総則

1 目的

本仕様書は、令和7年度阿賀野市消防本部（以下、「阿賀野消防」という。）において購入するセパレート型、防火衣上下（以下「防火衣」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。

2 概要

この防火衣は、火災発生建物への屋内侵入を実施する消防隊員がより安全に消火活動等を行うために求められる機能を有するとともに、快適性、運動性等、隊員の活動を容易にするための機能、防水性能及び、ヒートストレス対策等、快適性を有し、軽量化されたものであること。

3 防火衣の条件

- (1) 防火衣に使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、本仕様詳細書の全てを満足し、仕上りが優美な製品であること。
- (2) 防火衣は、国内の工場で縫製したものとし、当本部が破れ等の補修又は洗濯等のメンテナンスを依頼した場合は速やかに回収し、補修又は洗濯、撥水加工等を施して概ね10日以内に返却できるものであること。又、納入日より5年間における品質に著しい不良が認められた場合、受注者負担で修繕をすること。但し、使用方法、使用環境、保管方法、洗濯方法に対し適切でない状況下での破損等についてはこの範囲に含まない。

4 製作の承認

受注者は本仕様詳細書に基づく完成見本を製作し、試験成績書等を当本部担当課に提出して承認を得たうえで本製作にかかること。なお、本仕様詳細書に記載がない部分については当本部担当者との協議すること。

5 検査

- (1) 検査は当本部担当者の指示に従って受けること。
- (2) 検査項目は次のとおりとする。

- ア 員数検査
- イ 寸法検査
- ウ 縫製検査
- エ 外観検査
- オ 使用材料検査

6 特記事項

- (1) 本仕様詳細書に疑義が生じたときは、当本部の指示を受けなければならない。
- (2) 納入後であっても、明らかに製造上の不良、不具合については、交換、修理を行うこと。また、縫製に不良箇所があった場合は、受注者負担による修理又は交換を行うこと。

第3 防火衣の仕様

1 概要

- (1) 防火衣は、耐炎・耐熱性能、機械的強度性能、耐化学薬品性能、防水性能、快適性性能、運動性能、静電気帯電防止性能及び、その他必要な性能を有するものであること。
- (2) 防火衣は、ハーフコート型上衣と安全帯を装備するズボンで構成された上下型（セパレート式）で、上衣は着脱可能な多層構造とし、以降で示す性能を満たすとともに、防火衣単体（防火衣の下に着用する活動服を含まない。）で性能試験に合格すること。ズボンについては、活動服を複合層に含めて性能試験をすることを可能とする。
- (3) 防火衣は、表地（最外層）、透湿防水層（中間層）、断熱層（最内層）、の複合層で構成されたものであること。
 - ア 表地の素材は、メタ系アラミド及びパラ系アラミドの混紡とし、紫外線等による劣化を防ぐために裏糸が表に出てこない二重構造（コアスパン）とする。
 - イ 透湿防水層の素材は、アラミド繊維生地能耐水性と透湿性のある PTFE フィルムを貼り付けたものとする。
 - ウ 断熱層の素材はアラミド繊維とし、断熱性を高める空気層を多く形成する構造とすること。
- (4) 防火衣の前あき部分には、ファスナーを取り付け、そのファスナーを覆うことが出来るものとし、完全な耐熱性を確保できる構造とする。衿に関してもファスナー等、複合層を持った構造で閉鎖できるものとする。
- (5) 防火衣には、視認性を高めるための反射材を取り付けること。（取り付け位置等は絵型に示すとおり。）

2 縫製

- (1) 各部の縫い合わせは、縫い目の目とび、外れ等が無く良好であること。
- (2) 糸調子は良好であること。
- (3) 縫い代は各部分に適した十分なものであり、オーバーロックを掛け、縫い始めと縫い終わりは必ず返し針をすること。
- (4) 強度を必要とする箇所には、冑止めを施すこと。
- (5) 防水性に留意した縫製とすること。

3 材料及び構造

(1) 主材料

部品名	規 格 等	
外衣生地	種 類	パラ系アラミドとメタ系アラミドの混紡
	品 番	ニッケ F F - 8 8 0 ※同等品可能
	組 織	1 / 1 平織リップストップ
	混紡率	メタ系アラミド繊維 73.5%以上 パラ系アラミド繊維 26.0%以上 制電性繊維 0.5%
	糸番手	経 2 / 3 2 程度 ・ 緯 2 / 3 2 程度 二重構造糸
	加 工	撥水・撥油、帯電防止加工
	色 相	ネイビー
	重 量	230 g / m ² 標準
	引張強力	たて 2120 N よこ 1940 N 以上
	貫通強さ	6.6 (カケン法) 以上
	切断強さ	たて 9.6 よこ 8.4 (カケン法) 以上

內衣 (上衣)	內衣		內衣は透湿防水層①と防熱層②を組み合わせたもの
	①	種 類	難燃性を有し透湿防水機能を有するもの メタ系アラミド混紡の生布に透湿防水フィルムをラミネート(透湿度 800 g / m ² 以上) (品番ニッケ FBM-330 グレー)
	②	種 類	メタ系アラミドを主とし、パラ系アラミド、制電性繊維を混紡し、ボックス織りとしたもの (品番ニッケ FB-140B)
裏地 (ズボン)	③	種 類	難燃性を有し透湿防水機能を有するもの メタ系アラミド混紡の生地に透湿防水フィルムをラミネート(透湿度 800 g / m ²) (品番ニッケ FBM-380 グレー)

(2) 副材料 (上衣)

部品名	規 格	用 途
付	難燃縫製糸	露出部全般
	フェルト	肩補強芯
	ファスナー No10C	前立て YKKトップオープンファスナー
	ファスナー 45C	インナーライナー着脱
	皮革	前あわせファスナー・タブ
	面ファスナー	前立て、チストラップ [®] 、ポケットフラップ [®] 、袖腕章左右反射材)、インナーライナー、冷却ポケット
	反射テープ 3M 9587N 7.5m/m 蛍光ライム・イエロー ×シルバー	指定個所
	袖口リブ #紺	袖口
属	ハトメ SE200	ポケットの水抜き
	バイアステープ	インナーライナーの周囲
	目止めテープ	インナーライナー内側の縫い目全般
	ドットボタン 10mm	インナーライナー袖口止め
	反射フィルム イエロー	背文字 指定文字 (別紙図面)
	特殊高強度素材 色相=黒	肩部、袖口、肘

(3) 副材料 (ズボン)

部品名	規 格	用 途
付	難燃縫製糸	露出部全般
	ファスナー No5C	前立て、裾脇スリット
	PPテープ 38mm 黒	ウエストアジャストベルト
	Dカン LD38L 黒	PPテープに取り付け
	マジックテープ	前立て、ポケットの雨蓋、裾バンド
	反射テープ 3M 9587N 7.5m/m 蛍光ライム・イエロー ×シルバー	指定個所
	ドットボタン 10mm	ウエスト前部 インナーライナー裾部固定
	ハトメ SE200	ポケットの水抜き
属	バイアステープ	インナーライナーの裾囲
	目止めテープ	インナーライナーの内側の縫い目全般
	特殊高強度素材 色相=黒	膝部、裾口、膝補強

(4) 構造

構造	上 衣	折衿、前中心オープンファスナー開き、前立て比翼仕立て面ファスナー止め、インナーライナー着脱式
	ズボン	前ファスナー開き、前立て比翼仕立て面ファスナー止めサスペンダー付き、左右脇アウトポケット付き、裾脇ファスナー付、裾バンド付
構成	上 衣	外衣生地 + 內衣 ①②
	ズボン	外衣生地 + 內衣 ③

4 縫製

(1) 上衣 外衣

個 所	要 点
衿	1. 衿に防水層を入れること。 2. 衿左側後ろ中心より 50mm 幅のマジックテープ（オス）を縫い止める。右衿先前中心より 50mm 幅のマジックテープ（メス）を縫い止める。 3. 衿タブは付け位置側を除く周囲を地縫い返し、周囲に 7mm のステッチを掛ける。タブ先の表裏に 50mm のマジックテープ（メス）を縫い止める。 4. 表衿、地衿は衿付けを除く周囲を地縫い返しし、衿に周囲に 7mm のステッチを掛ける。
前身頃	1. 前中心はトップオープンファスナー開きとし、スライダーの顎部皮膚噛み防止用ヒレをファスナーレールの内側に取付ける。このヒレはスライダーの上下運動を妨げないようにパイピングし、張り出し角度を緩やかにすること。 2. 前立て、見返し、衿に防水層を入れる事。 3. 前立てフラップは 100mm で上前に縫い付ける。前立ての裏側に 38mm 幅のマジックテープ（メス）と下前に 38mm のマジックテープ（オス）を縫い付ける。 4. 左にロープを出せるサイドベンツを設ける。 5. 上衣右下のポケット雨蓋も 2 枚物とする。 6. 左右胸にアウトポケット深さは 19 cm とし（雨蓋付き）を設けること。 7. 左右にマイクフックを設けること。 8. 左右腰部に分離ポケット、大ポケット側フラップは小ポケットのフラップは二分割とする。ポケットは三方マチを設け、底部に水抜き用のハトメを付ける。 9. 肩部分に補強芯フェルトを入れ、外側に特殊高強度素材で補強を施す。 10. 上衣ベルト通しは前面 2 カ所と脇及び背面のベルトループは縫い付けとし、安全帯通し下に 4 箇所を共生地のループギアラックを付けること。
袖	1. 二枚袖とし、腕の自然な形に沿う形状とする。 2. 脇にマチを設け、腕の上下による上衣本体のずり上りを防止する。 3. 袖口先端部は特殊高強度素材で周囲を包み、内部に筒型のニットを縫い

	付ける 4. 袖口ニット止まりにドットボタン（メス）を取り付ける。 5. 左右上腕部（外袖側）は反射テープ一部をマジックテープにワッペンを着脱できるようにする。
後身頃	1. 背部に反射素材で消防本部指定の文字をプリントすること。（受注者と協議） 阿賀野市消防 NIIGATA 文字色：イエロー（別紙図面） 2. 収納袋固定面マジックファスナーの位置はサイズにより異なる。 M・Lは反射線直上の位置とする。 LLは反射線直上の位置から約 25 mm上とする。 3Lは反射線直上の位置から約 50 mm上とする。
反射テープ	反射テープは指定のものを使用し、3M 9587N 75m/m 蛍光ライム・イエロー×シルバー全て 75mm 幅とする。 ・前身頃胸部 ・背部中央 ・裾廻り ・袖口 ・上腕部（外袖部）

（２）上衣 インナーライナー

個 所	要 点
前身頃	1. 衿ぐり、前端、裾、袖口をバイアステープで押さえる 2. 冷却剤ポケット(指定寸法)を3ヵ所適宜な位置に設ける。 3. 周囲にNo45 ファスナーを付ける。
袖	1. 二枚袖とし、腕の自然な形に沿う形状とする。 2. 脇にマチを設け、腕の上下運動を助ける。 3. 袖口にドットボタンを取り付け、外衣袖口と合わせる。
後身頃	1. 腰部にマジックテープ（オス）を取り付け、外衣と合わせ止める。
全般	1. 全身頃は防水層①と防熱層②を別々に縫い合わせる。 2. 縫い目全般に防水の為、目止めテープは貼る事。

（３）ズボン 外衣

個 所	要 点
前身頃	1. 前中心 No5 ファスナー開きとする。 2. 前立て布に防水層①を入れ、上部にオレンジの取手付とする。 3. 前立て布を上前側に付け、裏側に面ファスナー（メス）を付ける。 4. 下前側は面ファスナー（オス）を付け、上前と合わせる。 5. 前立て上部にドットボタン 10m/m を一個取り付ける。 6. ウエスト下部計 4 箇所に安全帯用ベルト通しを設け、縫い付けとする。 7. 左前のベルト通し下にカラビナフック用共生地ループを取り付ける。 8. 左右サイドポケット付、フラップは左のみ二分分割とし、三方マチを設け、

	底部に水抜き用のハトメをつける。 9. 膝部分は立体縫製で、膝の曲げ伸ばし運動にゆとりの有る形状とする。 10. 膝前部は特殊高強度素材でカバーすること。 11. サスペンダー装着用のバックルは左右に2ヶ所を付けること。 12. 裾部分の外脇線にNo5ファスナーを付け、開閉式とする。また裾口には裾を止めるバンドをとりつけること。 13. 裾口周囲は特殊高強度素材で補強すること。
後身頃	1. ウエスト調節用の共生地ベルト（アジャストベルト）を付け、二方のベルト端部の一方を脇部で後ろから前方へ引っ張ることにより閉塞、アジャストベルトだけでズボンを保持できるものとする。 2. ウエスト下部、腰の後中心に安全帯用ベルト通しを設けること。 3. サスペンダー用バックルを左右に1ヶ所取り付けすること。
反射テープ	1. 反射テープは指定のものを使用し、下裾まわり全周に取り付ける。

（4）ズボン インナーライナー

個 所	要 点
全般	1. 全身頃は防水層③を使用する。 2. ウエスト部は外衣と內衣を縫い付ける。 3. 外衣と同様に膝部分は立体的に切り返しを入れ、膝の曲げ伸ばし運動を助ける形状とする。 4. 裾にドットボタンを付け外衣と合わせる。 5. 縫い目全般に防水の為、目止めテープは貼る事。

※他の製品で見積もる場合は、機能品質、性能は同等以上とし、落札者は納品前に製品について消防本部と協議し承認を得ること。

（1）仕上り寸法は下記のとおり

（2）受注業者は、当本部が指定する時期及び場所にて職員の採寸を行い作製すること。

（採寸後は採寸一覧表を担当者に提出すること。）

（3）女性職員用は通常の寸法表に関わらず、適切な採寸により作製すること。

上 衣

(上り寸法 単位：c m)

サイズ	着丈	胸囲	裾丈
S	6 8	1 1 5	7 5
M	7 3	1 1 9	7 9
L	7 8	1 2 4	8 3
L L	8 3	1 2 9	8 7
3 L	8 8	1 3 4	9 1
4 L	9 3	1 3 9	9 5

[許容差± 1 0 mm]

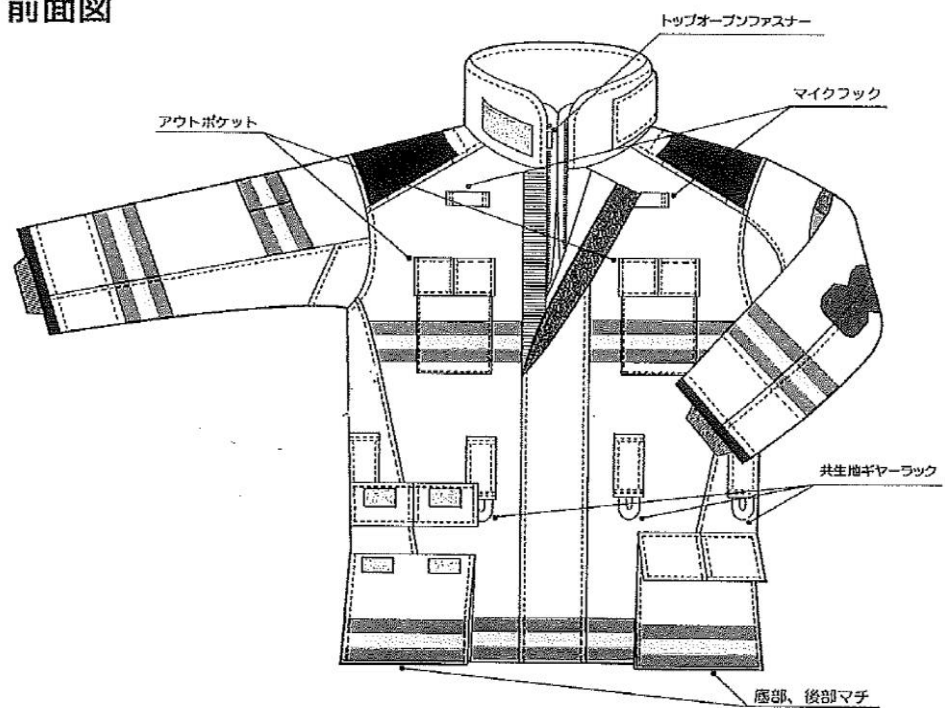
ズボン

(上り寸法 単位：c m)

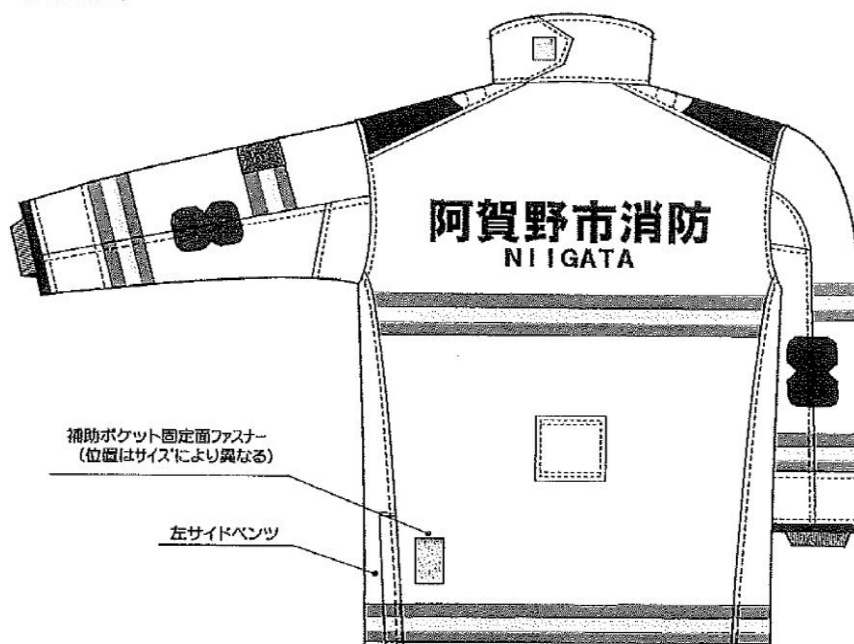
サイズ	ウエスト	ヒップ	股上	股下
S	8 1	1 1 5	3 3	6 4
M	8 9	1 2 1	3 3	6 8
L	9 7	1 2 7	3 3	7 2
L L	1 0 5	1 3 3	3 3	7 6
3 L	1 1 3	1 3 9	3 3	8 0
4 L	1 2 1	1 4 5	3 3	8 4

[許容差± 1 0 mm]

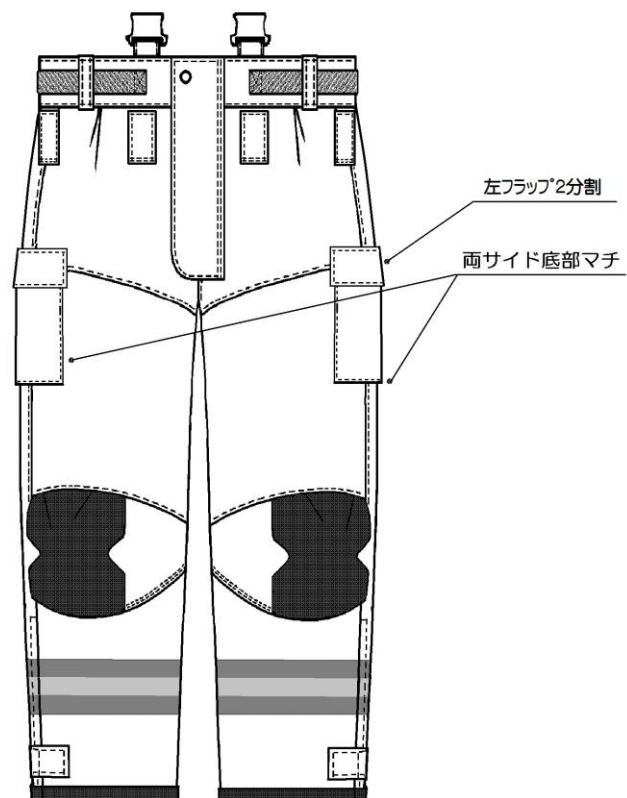
上衣 前面図



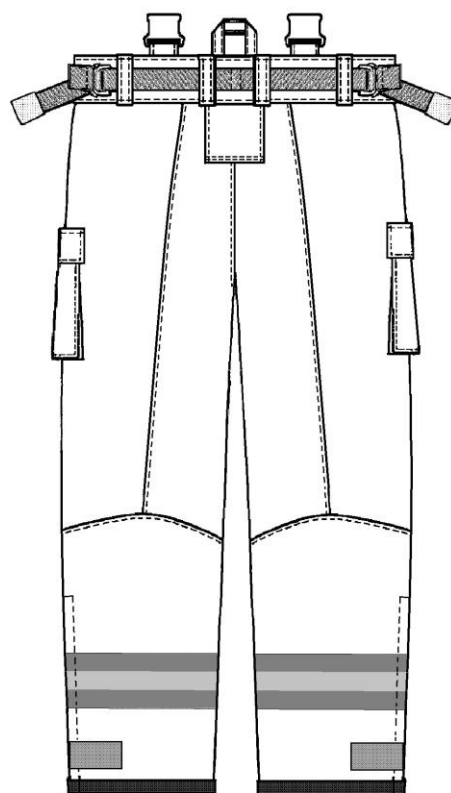
上衣 後面図



ズボン 前面図



ズボン 後面図



消防吏員用通年立体活動服仕様詳細書

1. 概要

この仕様は、阿賀野市消防本部における消防吏員用通年活動服上下について定める。

2. 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品する事。
- (5) 納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (7) 採寸については、試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。
- (8) 落札業者は、製品納入時に、表生地について紡績メーカー発行の「原反出荷済証明書」を提出すること。

3. 品名及び数量

消防吏員用 通年立体活動服 上衣	1 5 枚
消防吏員用 通年立体活動服 下衣	2 2 本
活動服用ネームワッペン	1 5 枚

4. 形式（立体裁断）

上衣（立体裁断）

長袖、カッター衿型、肩章付、前立比翼式ファスナー、袖口水かき付ファスナー、前後ヨーク、背中V型ヨーク、両胸雨蓋付きインダーツ式ポケット付き、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、左袖ペン差付き、右胸階級章台座、左胸名札用台座、右袖指定ワッペン台座付き、背中指定プリント、（別途：名札）

下衣（立体裁断）

ワンタックベトナム型、雨蓋付きカーゴポケット（二方マチ型）、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、股シック補強（菱形 4 ヶ所止め）、内股部三角形型ハギ入り（伸縮機能付き）、尻部片倒し高強度縫製、ベルトループ 7 本付、左右後部ポケット（右雨蓋付き）、ひっかけゴム付きミシンタタキ仕上げ。

5. 材料

表生地及び配色生地

経年劣化が予想されるポリウレタン(スパンデックス)系混紡素材は使用しない。
アラミドが80%以上混紡された吸水速乾機能付きの通年素材とする。

ア 素 材 : 帝国繊維株式会社 TS82CM クールマックス®アラミド

イ 混紡率 : メタ系アラミド 75%(±3%)
パラ系アラミド 5%(±3%)
吸水速乾ポリエステル 20%(±3%)
吸水速乾機能・制電機能付き

ウ 色 相 : c/# NV (消防本部承認済指定色)
c/# OR (消防本部承認済指定色)

<厳守事項>

上記素材以外を使用する場合は、上記記載条件を満たした事を証明できる下記事項を事前に消防本部担当課に指定期日までに提出し、事前承認を受けること。

- ① 現物試作品(本仕様書記載の縫製要領を変更しないこと。)
※生地見本のみの提出は不可とする。
- ② 公的検査機関が発行する試験報告証明書(吸水速乾機能含む)
- ③ 紡績メーカーが発行する「品質証明書」

6. 縫製条件

針数

3cm間で地縫いは12針程度、飾り縫いは12針程度、オーバーロックは8針程度とする。

穴かがり

上衣はネムリ穴・ズボンはハトメ穴とする。

釦 付

機械付又は手付とする。

裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

7. 縫製要領

上衣(立体的裁断)

ア. 主衿

テترون芯を入れ、衿巾は中央で約4.5cm、衿先約巾8.0cmとする。

上衿、台衿は前面に接着芯をはり、衿周りにステッチを施す。

衿裏はオレンジの配色仕様を施す。台衿には第1釦を設ける。

イ. 前立て

比翼式ファスナータイプとし、左上前合わせとし、比翼側には、面ファスナーA面を4ヶ所縫い付け、本体側には面ファスナーB面を4ヶ所縫いつける。

ファスナー-sliderは、握りやすい樹脂製とし、上下位置で固定できるものとする。

ウ. 前身頃

前身頃は2枚はぎとし、バストラインで縫い合わせる。

エ. 衿吊

衿吊は所定のものを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。

オ. 胸ポケット

胸ポケットは雨ブタ付ポケットとし、マジック止めとする。雨ブタは身頃切り返し部にはさみ縫いし、裏側にはオレンジの配色を施し、ポケット中央部にインダーツ(配色)を設ける。雨ブタは巾中央で高さ約6cm(端部で高さ約4.5cm) 横約14.0cm、胸ポケットは横巾約13.5cm、深さ約15.5cmとし、左胸ポケットには内側にペン差し口を設け、内側には手帳吊りループを挟み縫いする。

カ. 背ヨーク

背ヨークは1枚仕立のV型とし、ヨーク巾は中央で約19cmとする。はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

キ. 肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

ク. 脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において裾がズボンからはみ出す等の服装の乱れが起こりにくい構造とする。

ケ. 背タック

なしとする。

コ. ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減する為、脇下部にベンチレーション機能を設ける。

サ. 袖

2枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。

後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布(水かき)をカフス先端まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

シ. 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可)

ス. 袖口

袖は後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設け、ファスナー開閉式とする。ファスナーのsliderは前立て部に使用するものと同様の形状とする。

セ. 片布・品質表示

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

ソ. サイズネーム

衿付中央の下縁に、はさみ縫い付ける。

タ. 階級章台

下前身頃雨ブタ付根、中央上部1.5cm上に2.5cm×4.0cmの面ファスナーを縫い付ける。

チ. 肩章

巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫込み4.0cm内側に入ってクロスステッチを入れること。肩章の先は衿付根部より1.0cm下がった位置とする。肩章の裏側は、オレンジ配色とする。釦は紺色とする。

ツ. 裾折り返し

裾は三ッ折り縫いとする。

テ. 所属ネーム

左胸ポケット上部中央約1.5cm上に、名札取り付け用として、縦4.0cm×横9.0cmの面ファスナーを縫い付ける。

ト. 消防ネーム（背中）

背ヨーク部に消防本部指定のデザインのネームをプリントする。

デザインは、仕様図参照とし、詳細は担当課に確認する事。

ナ. ワッペン台

右袖に消防本部が指定するワッペンを袖付位置より7cm下がった中央部に縫い付ける。詳細は担当課に確認する事。

下衣（立体裁断）

ア. 前タック

左上前合わせとし、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 腰帯

腰帯幅は4cmとし、腰裏にはすべり止め付き腰裏を縫い付ける。

ウ. 前立て

上前の前立てに芯を貼り、約3.5cm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

エ. カーゴポケット

両脇の腰帯上部より19cm下がった位置に雨蓋式カーゴポケットを縫い付ける。雨蓋は長方形とし、2.5cm×4.0cmの面ファスナーを2ヶ所止めとする。雨蓋裏は配色とする。ポケット本体は、底、後側の2方に配色のマチを設ける。後側のマチはポケット口上端より2.5cm縫い止め、上端には閉止めを施す。

ポケット寸法は、縦20cm×横17cmとする。

オ. 後部・尻合わせ

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

（強度を確保するため。片倒しステッチ縫製とする。）

カ. 後ポケット

左右後に口幅 14.0 cm、深さ 17.5 cmの片玉切りポケットを各 1 個設け、右側のポケットは五角形型の雨蓋付きとする。雨蓋裏には配色を施す。

キ. ベルトループ

ループ幅 2.0 cm、長さ 5.5 cmのベルトループを 6 本、後中心の 1 本のみ幅 8.0 cm巾とし、全体で 7 本とする。ベルトループの下端は、補強のため二重縫いすること。

ク. 裾

裾は採寸により決定した寸法へ修正し、ひっかけゴム付きのミシンタタキ仕上げとする。ひっかけゴムは 2 cm巾のオペロンゴムとする。

ケ. 脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ. シック補強

内股部に菱形形状のシック（当て布）を 4 ヶ所止めにて縫い付ける。

サ. 内股補強

縫い割し、また交差部に左右対称の三角形形状のハギを入れ、股割動作に対する突っ張りを緩和する伸縮構造を有すること。

シ. サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

ス. 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

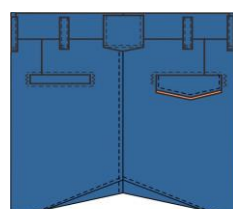
8. 活動服用ベルト

幅は 4. 0 cmで、濃紺色とし 2 ピン式

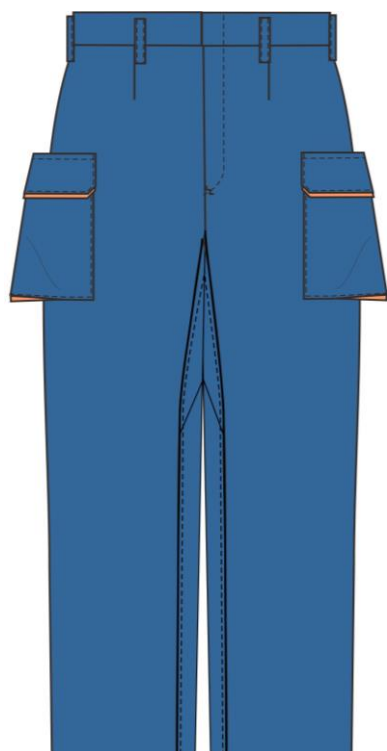
9. 活動服用ネームワッペン

サイズは縦 4.0 cm×横 9.0 cmで、素材は活動服同様としマジック式
上段に「阿賀野市消防」下段に「個人名」を刺繍

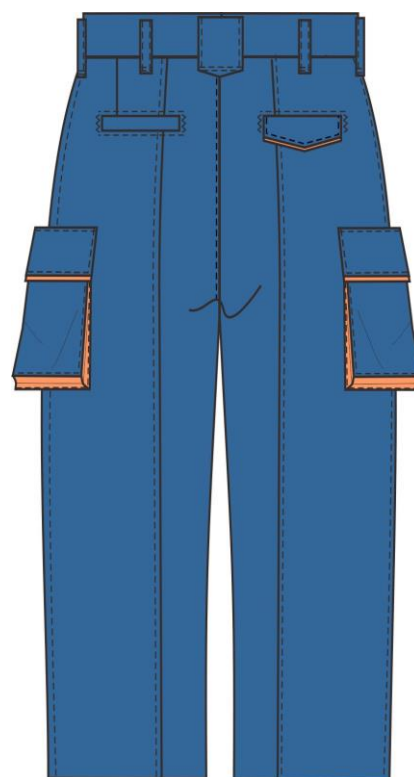
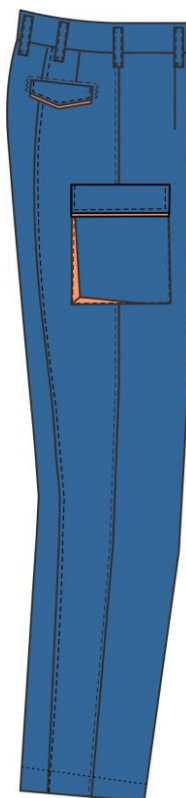
仕様図面



伸縮構造



裾ひっかけゴム付ミシンタタキ



後側マチ上から 2.5 cm縫い止める

サイズ規格表

立体活動服上衣 サイズ表

	A3S	ASS	AS	AM	AL	ALL	A3L
バスト	95	100	105	110	115	119	123
肩幅	42	43	44	46	48	49	51
着丈	72	72	72	75	78	81	84
袖丈	53	53	54	56	58	60	63
カラー	36	36	37	38	39	40	42

	BS	BM	BL	BLL	B3L	B4L	
バスト	113	119	125	129	133	141	
肩幅	47	49	51	53	56	58	
着丈	72	75	78	81	84	84	
袖丈	53	55	57	59	61	61	
カラー	38	40	42	45	47	49	

立体活動服下衣 サイズ表

	A000	A00	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
ウエスト	61	64	67	70	73	76	79	82	85	88
ヒップ	94	97	100	102	102	102	104	106	108	110
ワタリ	31	32	33	34	34	34	34.5	35	35.5	36
裾巾	20	20.5	21	21.5	21.5	21.5	22	22	22.5	22.5

	B2	B3	B4	B5	B6	115	120			
ウエスト	91	95	100	105	110	115	120			
ヒップ	113	117	119	123	126	131	136			
ワタリ	37	37.5	38.5	39.5	40.5	42	43			
裾巾	23	23.5	23.5	24	24	25	25			

クールマックス®アラミド TS82CM 生地規格書

項 目		規 格 値	試 験 方 法
混 紡 率		メタ系アラミド 75%(±3%以内) パラ系アラミド 5%(±3%以内) 吸水速乾ホリエステル 20%(±3%以内) 導電性繊維 1%以下	JIS L 1030
見 掛 番 手	タテ・ヨコ	40/2s	JIS L 1096 A法
組 織		平 織	JIS L 1096 A法
密 度 (本/2.54cm)	タ テ	70以上	JIS L 1096 A法
	ヨ コ	60以上	
重 量(g/m ²)		180以上	JIS L 1096 A法
引 張 強 力 (N)	タ テ	900以上	JIS L 1096 A法 ラベルドストリップ法
	ヨ コ	750以上	
引 裂 強 力 (N)	タ テ	35以上	JIS L 1096 A法 ベンジユラム法
	ヨ コ	35以上	
寸法変化率	タ テ	1.0以下	JIS L 1042 D法
	ヨ コ	1.0以下	
燃焼性	残炎時間(秒)	1以下	JIS L 1091 旧A-4法
	余じん時間(秒)	3以下	
	炭化距離(cm)	10以下	
帯電電荷量(μC/m ²)		7未満	JIS L 1094
染色堅牢度 (級)	洗 濯	4以上	JIS L 0844 A-2法
	摩擦(乾)	4以上	JIS L 0849 II 法
	汗	4以上	JIS L 0848
	耐 光	3以上	JIS L 0842
限界酸素指数		28以上	JIS K 7201 B-1法
吸水速度(秒)		30以下	JIS L 1907 滴下法(裏面)
染 色 方 法		原液着色(メタ系・パラ系アラミド)	

救助服仕様詳細書

1. 概要

この仕様は、阿賀野市消防本部における消防吏員用救助服等について定める。

2. 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品する事。
- (5) 納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (7) 採寸については、試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。
- (8) 落札業者は、製品納入時に、表生地について紡績メーカー発行の「原反出荷済証明書」を提出すること。

3. 品名及び数量

救助服上衣 5 枚

救助服下衣 5 本

救助服用ネームワッペン 5 枚

4. 型 式

上 衣（立体裁断）

長袖、スタンドカラー、フルジップ式、肩章付き、前立突き合わせファスナー式、袖口水かき付きファスナー、肘切替式刺子仕様(当て布不可)、前身頃刺子補強、背ヨーク刺子補強、両胸両玉縁ファスナー式インポケット、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、左胸名札用台座及び刺繍入り、左袖指定型エンブレム台座、背中指定プリント入り

下 衣（立体裁断）※内股部伸縮機能付き・刺子補強部の当て布は不可

ノータック、両脇ファスナー式立体形状カーゴポケット、後身頃切替、尻部及び前身頃刺子補強、膝部切替式刺子仕様(当て布不可)、左上前ファスナー開き前釦止め、前立てファスナー式、内股部三角形型ハギ入り（伸縮機能付き）、ベルトループ5本付、裾絞りゴム及びひっかけゴム付きミシンタタキ仕上げ

5. 主材料

本救助服に使用する素材は、アラミドを混紡した吸水速乾性能を有した素材とする

使用生地

ア 素 材	: 帝国繊維 TS 8 2 CM クールマックス®アラミド
イ 混紡率	: メタ系アラミド 7 5 %
	パラ系アラミド 5 %
	吸水速乾ポリエステル 2 0 %
	導電性繊維 1 %以内
ウ 組 織	: 平織(部分二重織)
エ 色 相	: c / # O R (消防本部事前承認済指定色)

厳守事項

- ① 公的検査機関が発行する試験報告証明書（吸水速乾機能含む）
- ② 紡績メーカーが発行する「品質証明書」

上記素材以外を使用する場合は、受注後、納品前に厳守事項に合致する素材を用いた現物試作品（本仕様書記載の縫製要領を変更しないこと）を消防本部に提出のうえ、確認を受けること。※生地見本のみの提出は不可とする。

6. 縫製条件

針数

3.0 c m間で地縫いは12針程度、飾り縫いは12針程度、オーバーロックは8針程度とする。

穴かがり

上衣はネムリ穴・ズボンはハトメ穴とする。

釦付

機械付又は手付とする。

裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

糸始末は丁寧に行うこと。

7. 縫製要領

上衣（立体裁断）

ア. 主衿

フルジップ式のスタンドカラーとし、衿巾は前側で約9cm、後衿中心で約10cmとする。前立てのファスナーは衿先までとし、衿後側には、補強の為山刺しステッチを施すこと。衿内側中心には、扇形の切り返しパーツを縫着する。

イ. 前立て

突合せファスナー仕様とする。前中心は、ファスナーのムシが見えないように縫製し、衿先から前身頃に掛け続けて挟み縫いする。ファスナー下端は、着脱動作がしやすいように左右生地を門止めにて開ける処理を施す。

ウ. 前身頃

前身頃には、2枚仕立ての刺子補強を施し、胸下部付近より裾にかけては、カーブ曲線を描いた刺子補強部位とする。

エ．衿吊

衿吊は衿付中央に、はさみ縫い付ける。

オ．胸ポケット

革取手付きのファスナー式インポケットとする。ファスナーは両玉縁でムシが見えないように縫着し、閉じて【外側】になるように縫製する。左ポケット内部の脇側には、2本差用のペン差しループを縫着する。

カ．背ヨーク

背ヨークは、2枚仕立ての刺子補強を施し、ストレート型とする。ヨーク巾は中央で約27cm程度とし、はさみ縫いし表一条飾りミシン縫いとする。

キ．肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

ク．脇身頃

裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において裾がズボンからはみ出す等、服装の乱れが起こりにくい構造とする。

ケ．マイクフック

今回は装着無しとする。

コ．ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部にベンチレーション機能を設ける。

サ．袖・肘刺子

2枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをかける。

肘の伸縮をしやすいように、斜め方向に切り替え、肘部に刺子パーツを縫い合わせる（肘部刺子パーツ当て布不可）。

後袖切り替え線上の袖口に、突き合せのファスナー開きを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布（水かき）をカフス先端まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは、前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

シ．袖付け縫い

本縫い更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）。

ス．袖口

袖は後袖切り替え線上の袖口に突き合せのファスナー開きを設け、水かき付きのファスナー開閉式とする。ファスナーは革取手付きのものを使用する。

セ．片布・品質表示・クールマックスラベル

左前胸ポケット裏面中央に縫い付ける。

ソ．サイズ表示

衿付の下縁に、はさみ縫い付ける。

タ．階級章台座

右前身頃雨蓋中央1.5cm上に、縦2.5cm・横4.0cmの面ファスナー（ループ面）を縫い付ける。

チ．肩章

巾は約 5.5 cm とし、端を袖付けの縫目に縫込み 4 cm 内側に入った位置に前後をミシステッチで上からおさえる。肩章の先は台形の形状とする。

ツ. 裾

シャツ型の三つ折り縫い仕上げとする。

テ. 左胸名札・名札用台座

左胸ポケット上部に、名札用台座として面ファスナー(ループ面)を縫着する。

台座の寸法は、縦 2 cm × 横 5 cm とする。名札は共生地を使用した裏マジック付とする。個人名を刺繍したものとする。名札用台座の上には当本部指定の刺繍を施す。上段に【阿賀野市消防】、下段に【救助隊】と刺繍する。名札及び刺繍の色相、字体、大きさの詳細については、担当課と協議する事。

ト. 左袖指定エンブレム台座

左袖の袖付位置より 8cm 下がった位置に、消防本部指定型のエンブレム台座を縫着すること。台座の形状については、消防本部担当課の指示に縫着すること。

ナ. 背中指定プリント

背ヨーク部に、消防本部が指定するプリントネームを施す。

上段に【新潟県】、下段に【阿賀野市消防】とプリントする。

字体、大きさ、バランスについては、担当課の協議の上、最終決定をすること。

下衣 (立体裁断)

ア. 前タック

左上前ファスナー開きの、ノータック仕様とする。

イ. 腰帯

腰裏にはすべり止め付きのマーベルトを縫い付ける。

ウ. 前立て

前合わせは釦止めとし、前立てには芯を貼り、約 3.5 cm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

エ. 脇ポケット

両脇にファスナー式の立体形状カーゴポケットを縫着する。ポケットは立体形状とし、深さは約 25 cm、巾は約 20 cm を参考とする。ファスナーは閉じて【後ろ側】とする。

オ. 後部・尻合わせ

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

カ. 後ポケット

なしとする。

キ. ベルトループ

ループ通し巾縦 6.0 cm、横 9.0 cm の計 5 本とする。

ク. 裾口

個人別採寸とし、裾周囲には平ゴムを通して絞りゴム仕様とし、ひっかけゴムを縫着したミシタタキ仕上げとする。

ケ. 脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ．膝部刺子

膝の伸縮がしやすいように、膝の上下で切り替え、膝部に刺子パーツを縫い合わせる
(膝部刺子パーツは当て布不可)。

サ．前身・尻部刺子補強

腰帯下から尻部全体にかけて 2 枚仕立ての切り替えパーツ式の刺子補強を施し、強度を確保し、動きやすさを損なわない設計とする。

シ．棒シック補強

内股部裏側に、棒シックを縫着する。

ス．内股補強 (※伸縮機能付き)

縫い割りし、また交差部に左右対称の三角形のハギを入れ、股割動作に対する突っ張りを緩和する伸縮構造を有すること。

セ．片布・品質表示・クールマックスラベル

左脇ポケット裏に縫い付ける。

ソ．サイズ表示

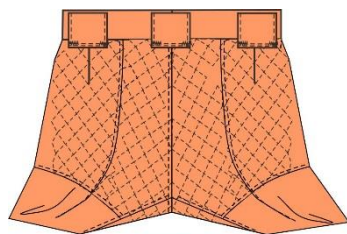
氏名片布にはさみ縫い付ける。

8．救助服用ベルト

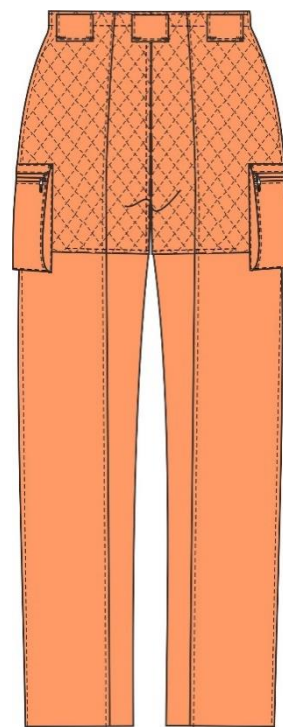
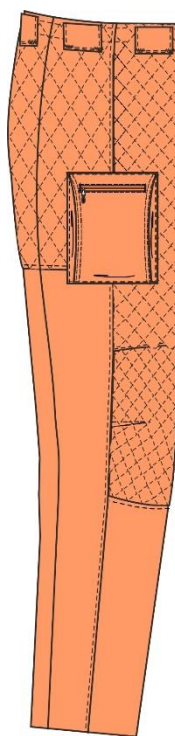
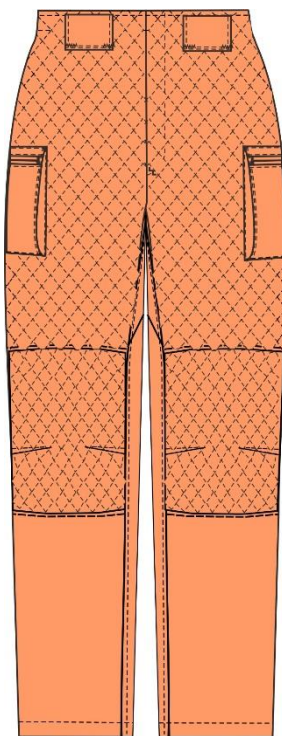
幅は 5 cm とし、濃紺色で 2 ピン式

9．救助服用ネームワッペン

サイズは縦 2 cm × 横 5 cm で素材は救助服同様とし、「個人名」を刺繍したマジック式



※内股伸縮構造



※裾：絞りゴム + ひっかけゴム付ミシンタタキ仕上げ

サイズ規格表

上 衣

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
バスト	109.5	113.5	117.5	123.5	130.0	136.0	142.5	148.5
胸囲	94.0	98.0	102.0	108.0	114.5	120.5	127.0	133.0
肩巾	44.0	46.0	48.0	50.0	52.0	55.0	58.0	60.0
袖丈	55.0	56.0	57.0	59.0	60.0	61.5	62.0	64.0
着丈	73.0	73.0	75.0	77.0	80.0	81.0	84.0	86.0

下 衣

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
ウエスト	73.0	77.0	81.0	85.0	89.0	93.0	97.0	101.0
ヒップ	94.0	98.0	102.0	106.0	110.0	114.0	118.0	122.0
ワタリ	33.5	34.5	35.5	36.5	37.5	38.5	39.5	40.5
裾巾	17.5	18.5	19.3	20.0	20.0	20.5	21.5	21.5
股上	20.5	21.5	21.5	22.5	23.0	24.0	25.0	26.0